



大杖 正彦 議員

自主組織と公民館の位置づけは

町長 総合教育会議で議題にする



にぎやかなクリスマスパーティー(まちづくり大山)

【大杖】 自主組織は地域内の交流と活性化を目的に、地元のこと、地元住民という理念に基いて活動している。

地区住民が楽しめる催しなど集落の意見を聞き、持続可能な運営の実現に努力され実績を挙げている例もある。

住民が積極的に参加し、さらに活発な運営ができるための支援をしているか。

【町長】 地域自主組織は「住民と協働した町づくり」を推進している。

くために必要な組織だ。現在、行政が行っていた業務を自主組織へ委託する方向で取り組んでいる。

【大杖】 最近、行事によつては公民館と自主組織が共催運営している。自主組織に公民館活動を指定管理として町が委託する考えは。

【町長】 公民館活動業務の委託については、総合教育会議で議題にする。

友好館と仁王堂公園の管理運営業務は自主組織に委託している。

職員のマナー研修は十分か

町長

研修機関に参加している

【大杖】 職員の不祥事・不適切事務や住民から役場内の雰囲気や接遇マナーや電話対応などに不満が聞かれます。

業績を伸ばし利用者から評判の良い企業は新入社員は無論、幹部社員に至るまで徹底した研修を実施しています。

嘱託・臨時職員の割合が多い本町役場には、業務研修と合わせ規律規範・マナー研修は重要な要素だが研修体制は十分と考えているか。

【町長】 マナー研修の内容からこうすればいいのかなど、自主的に動くことが一番理想だ。今年度、初めての試みで、顧客満足度を上げるためプロ講師か



朝礼で対応を徹底

らCS講座を行った結果、管理職会議で指摘された「電話対応・整理整頓」など自主的に変えている職員がいるという話がでた。

【教育長】 教育委員会では、一般職員研修に加え保育士の専門性と質の向上をめざし、毎年県主催研修および全国保育協議会に参加しており、本町独自の研修も行っている。